

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

下松市教育委員会

令和3年度全国学力・学習状況調査（令和3年5月27日実施）の結果についてお知らせします。

本調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、学力の状況や児童生徒の生活習慣、学習環境等の状況を把握するとともに、児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善に役立てるものです。本年度は、国語、算数・数学が実施され、合わせて児童生徒質問紙により、生活習慣等に関する調査が行われました。

## 1 全国学力・ 学習状況調査 の結果公表

### 山口県の結果

小学校	平均正答率		中学校	平均正答率	
	全 国	山口県		全 国	山口県
国 語	64.7	64	国 語	64.6	65
算 数	70.2	69	数 学	57.2	58

### 下松市の結果

下松市の平均正答率は、小・中学校ともに全ての教科において、全国、山口県の平均正答率を上回る結果となっています。

## 2 教科に関す る結果

◎：相当数の児童生徒ができている点 ▲：課題のある点

### 小学校 国 語

- ◎ 目的や意図に応じ、資料を使って話すこと
- ◎ 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと
- ▲ 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること



### 小学校 算 数

- ◎ 速さと道のりを基に、時間を求める式に表すこと
- ◎ 棒グラフから、項目間の関係を読み取ること
- ▲ 三角形の面積の求め方について理解すること
- ▲ 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述すること



### 中学校 国 語

- ◎ 話合いの話題や方向を捉えること
- ◎ 質問の意図を捉えること
- ▲ 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと



### 中学校 数 学

- ◎ 整数の加法と減法の計算をすること
- ◎ 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること
- ▲ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること
- ▲ データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること



### 3 児童生徒質問紙調査の結果

望ましい  
状況

課題と  
見られる状況

- ◎ 「朝食を毎日食べている」と答えた児童生徒の割合が高いこと
- ◎ 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と答えた児童生徒の割合が高いこと

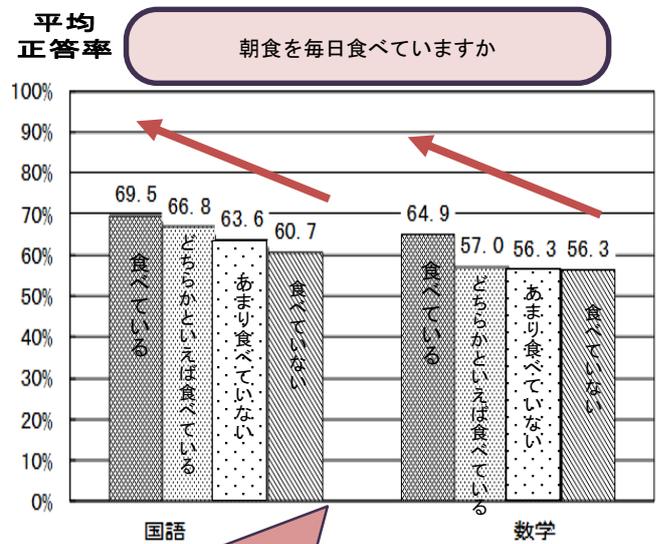
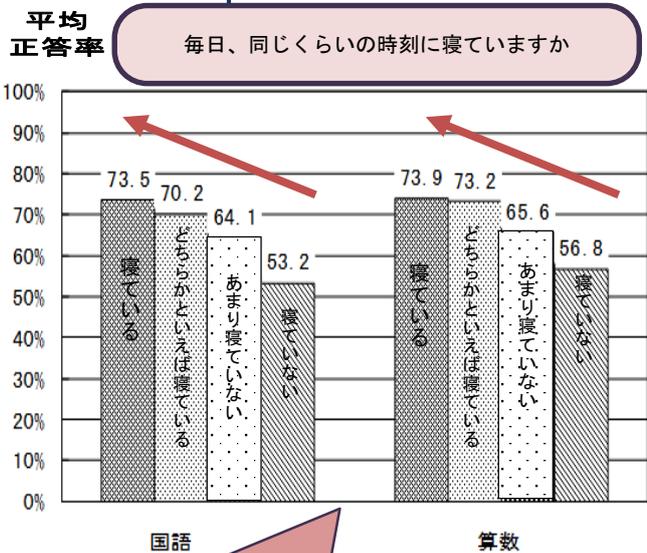
- ▲ 「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」と答えた児童生徒の割合が低いこと
- ▲ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた児童生徒の割合が低いこと

### 4 クロス集計による結果

\* クロス集計・・・「児童生徒質問紙」と「各教科の平均正答率」との相関関係を調べたものです。

#### 小学校

#### 中学校



就寝時刻が同じくらいと答えた児童ほど、平均正答率が高い傾向が見られます。

「朝食を毎日食べている」と答えた生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られます。

### 5 今後の取組

#### ★ 学 校

- 学校の組織的取組の強化  
(教科・学年の枠を超えた研修の推進、学力向上プランの見直し・改善、中学校区における小中連携の取組、ICT機器を活用した授業実践等)
- 児童生徒の「学習力」の向上をめざす授業改善  
(「キラリくだまつ授業づくり」の活用、誤答分析を生かした授業改善等)
- 校内研修の活性化と指導の充実  
(「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業や研修の充実、「やまぐち学習支援プログラム」や「学力定着状況確認問題」の活用、個に応じた補充学習等)

#### ★ 家庭・地域

- 学習・生活習慣の確立  
(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)
- コミュニティ・スクールを生かした学習支援  
(地域の人材による支援等)

#### ★ 下松市教育委員会

- 「キラリくだまつ授業づくり」の実践事例の紹介
- 課題と考えられる状況等の情報提供
- 学校訪問等による指導・助言
- 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりに関する指導・助言
- 下松市学習指導実践研究校の指定
- 下松市教育研究所における実践研究とその普及